

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年8月3日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 裕司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理グループ長 (氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,800	△1.2	367	81.7	579	58.1	453	56.9
30年3月期第1四半期	6,885	△1.7	202	△38.6	366	△14.3	288	△8.2

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 395百万円(25.3%) 30年3月期第1四半期 315百万円(165.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	16.72	—
30年3月期第1四半期	10.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	25,105	8,566	34.1
30年3月期	24,948	8,306	33.3

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 8,566百万円 30年3月期 8,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△3.3	760	△9.6	920	△22.8	670	△26.1	24.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	35,000,000株	30年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	7,890,646株	30年3月期	7,890,645株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	27,109,354株	30年3月期1Q	27,109,396株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の持ち直しや政府の各種政策の効果により企業収益や雇用・所得環境が改善するなど、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。今後は、輸出や設備投資が底堅く推移すると見込まれる一方、米国の保護主義的な政策による中国他諸地域との貿易摩擦懸念や原油価格の上昇など、景気の先行きには不透明感が存在しております。

このような状況の中、当社グループはお客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」を目標に、砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、経営成績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において12.33セントで始まった後、主要生産国インドでの砂糖生産量の増加観測及びブラジル通貨レアルの対米ドルでの安値傾向の進行により相場が下落し、4月下旬には約2年半ぶりの安値である10.69セントを付けました。その後は主要生産国ブラジルにおいて、乾燥気候の長期化による産糖量の停滞観測等により相場は上昇傾向となり、6月初旬には12.97セントの高値を付けました。その後は12セントを挟んで推移し、11.86セントで当期を終了しました。このような相場動向のもとで、当社では適切な原料糖の調達に努めてまいりました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初189円～190円で始まり、同水準のまま当期を終了しました。

精糖及びその他糖類などの国内販売は、業務用製品は主に飲料向けが伸長したことから大手ユーザーを中心として好調に実績を確保し、家庭用製品も回復傾向で推移いたしました。この結果、販売数量は前年を上回りましたが、販売単価が前年と比較して下落したことから売上高は前年を下回りました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は6,317百万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益は553百万円（前年同期比34.5%増）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖部門は、腸内環境改善効果を有する特定保健用食品「オリゴのおかげ」シリーズの拡販と認知度向上を目指し、主要な販売先及び量販店を中心とした販売促進活動の強化に努めるとともに、各種メディアを通じた一般消費者への訴求活動及び当社公式ウェブサイトにおける内容の充実化を図りました。この結果、一部アイテムでは前年以上の実績を維持いたしました。しかし、オリゴ糖部門全体では販売数量及び売上高とも前年同期を下回りました。

サイクロデキストリン部門は、食品及び非食品において新規用途の開発と営業力の強化を通じた拡販に努めました結果、販売数量は前年を下回りましたが売上高は前年を上回りました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は481百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益は91百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューESRビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は32百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は15百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

以上の結果、当期の売上高は6,800百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は367百万円（前年同期比81.7%増）、経常利益は579百万円（前年同期比58.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は453百万円（前年同期比56.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて157百万円増加し、25,105百万円となりました。これは主に、商品及び製品が110百万円増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて102百万円減少し、16,539百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が251百万円増加した一方で、長期借入金が445百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて259百万円増加し、8,566百万円となりました。これは主に、利益剰余金317百万円増加、その他有価証券評価差額金が58百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年5月11日公表の業績予想からの変更はありません。今後、何らかの変化が生じた場合、適時適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,784	1,259
受取手形及び売掛金	2,035	2,134
商品及び製品	1,084	1,195
仕掛品	271	195
原材料及び貯蔵品	713	1,239
その他	1,043	1,098
流動資産合計	6,932	7,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,975	9,983
減価償却累計額	△6,393	△6,458
建物及び構築物(純額)	3,582	3,525
機械装置及び運搬具	11,283	11,302
減価償却累計額	△9,480	△9,556
機械装置及び運搬具(純額)	1,803	1,745
工具、器具及び備品	460	462
減価償却累計額	△387	△391
工具、器具及び備品(純額)	72	71
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	23	21
有形固定資産合計	10,715	10,597
無形固定資産		
ソフトウェア	124	120
その他	6	6
無形固定資産合計	130	126
投資その他の資産		
投資有価証券	5,107	5,184
長期貸付金	1,224	1,233
繰延税金資産	753	759
その他	84	81
投資その他の資産合計	7,170	7,259
固定資産合計	18,016	17,983
資産合計	24,948	25,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	689	941
短期借入金	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	1,588	1,653
未払法人税等	177	97
未払消費税等	176	201
賞与引当金	78	39
その他	1,061	1,202
流動負債合計	8,772	9,135
固定負債		
長期借入金	6,820	6,375
退職給付に係る負債	716	692
繰延税金負債	8	18
その他	324	318
固定負債合計	7,869	7,404
負債合計	16,642	16,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	9,687	10,004
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	8,657	8,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△361	△420
繰延ヘッジ損益	△4	△4
退職給付に係る調整累計額	15	15
その他の包括利益累計額合計	△350	△408
純資産合計	8,306	8,566
負債純資産合計	24,948	25,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	6,885	6,800
売上原価	5,666	5,458
売上総利益	1,218	1,342
販売費及び一般管理費	1,016	974
営業利益	202	367
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	59	58
持分法による投資利益	122	169
その他	3	4
営業外収益合計	192	239
営業外費用		
支払利息	25	24
支払手数料	1	1
その他	1	1
営業外費用合計	28	27
経常利益	366	579
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
税金等調整前四半期純利益	366	579
法人税、住民税及び事業税	55	95
法人税等調整額	21	29
法人税等合計	77	125
四半期純利益	288	453
親会社株主に帰属する四半期純利益	288	453

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	288	453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△59
繰延ヘッジ損益	2	△0
退職給付に係る調整額	2	0
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	26	△58
四半期包括利益	315	395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	315	395

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,396	460	27	6,885	—	6,885
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4	20	4	29	△29	—
計	6,401	480	32	6,915	△29	6,885
セグメント利益	411	83	16	511	△309	202

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,312	459	28	6,800	—	6,800
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	21	4	31	△31	—
計	6,317	481	32	6,831	△31	6,800
セグメント利益	553	91	15	659	△292	367

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。